

令和2年度待機児童の状況と対策

各学童保育室入室及び待機児童数並びに待機児童対策

(令和2年4月1日現在 単位:人)

No	施設名	定員	入室児童数	待機児童数	待機の理由	※	待機児童対策
1	豊岡学童保育室	70	70	10	定員超過	5	施設整備によりR4から定員増
2	藤沢学童保育室	40	52	5	定員超過		民間学童保育室による受入
3	西武学童保育室	40	39	10	配慮を必要とする児童対応、定員超過		
4	西武第二学童保育室	40	40	13	定員超過		
5	東金子学童保育室	70	45	8	職員不足		一部施設の民間委託による適正な人員配置
6	藤沢北学童保育室	70	86	19	定員超過	2	施設整備によりR4から定員増
7	高倉学童保育室	70	44	0			
8	黒須学童保育室	70	73	0			
9	扇学童保育室	60	59	7	配慮を必要とする児童対応、定員超過	1	
10	扇第二学童保育室	50	50	11	定員超過		
11	金子学童保育室	50	37	2	職員不足		R3から民間委託
12	金子第二学童保育室	40	32	0			//
13	狭山学童保育室	70	59	13	配慮を必要とする児童対応、定員超過		
14	藤沢南学童保育室	40	30	0			
15	藤沢南第二学童保育室	40	29	0			
16	藤沢東学童保育室	70	45	0			
17	藤沢東第二学童保育室	40	38	0			
18	仏子学童保育室	50	52	5	定員超過		
19	宮寺学童保育室	35	34	0			
20	新久学童保育室	60	42	0			
21	東町学童保育室	55	48	0			
22	東町第二学童保育室	40	36	0			
合計		1,170	1,040	103		8	

※待機児童のうち、児童センターの「ランドセル来館事業」を利用している児童数

- 令和3年4月から金子・金子第二学童保育室の運営を民間事業者に委託することにより、職員を集約し、職員不足を解消します。
- 配慮を必要とする児童に対応するため、職員の研修の受講や、埼玉県障害児療育支援事業による療育に関する指導・助言を受けています。今後、加配職員の配置等について、調整していきます。
- 施設整備の予定がない定員超過の施設については、待機児童の放課後の安全な居場所の確保を図るため、公共施設でのランドセル来館等を検討していきます。